

## ニッセイAI関連株式ファンド

(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし) / (年2回決算型・為替ヘッジあり) / (年2回決算型・為替ヘッジなし)

愛称: **AI革命** (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし) / (年2・為替ヘッジあり) / (年2・為替ヘッジなし)

### 設定来の決算状況と今後の見通しについて

#### 基準価額と分配の推移①

「AI革命(年2・為替ヘッジあり) / (年2・為替ヘッジなし)」は、毎年4・10月の各25日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行います。第1期から第7期までの分配金(1万口当り、税引前)は以下の通りです。次回決算は2021年10月25日を予定しています。

#### AI革命(年2・為替ヘッジあり)



#### AI革命(年2・為替ヘッジなし)



※分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配前基準価額は、決算日当日に分配金が支払われなかった場合の基準価額です。

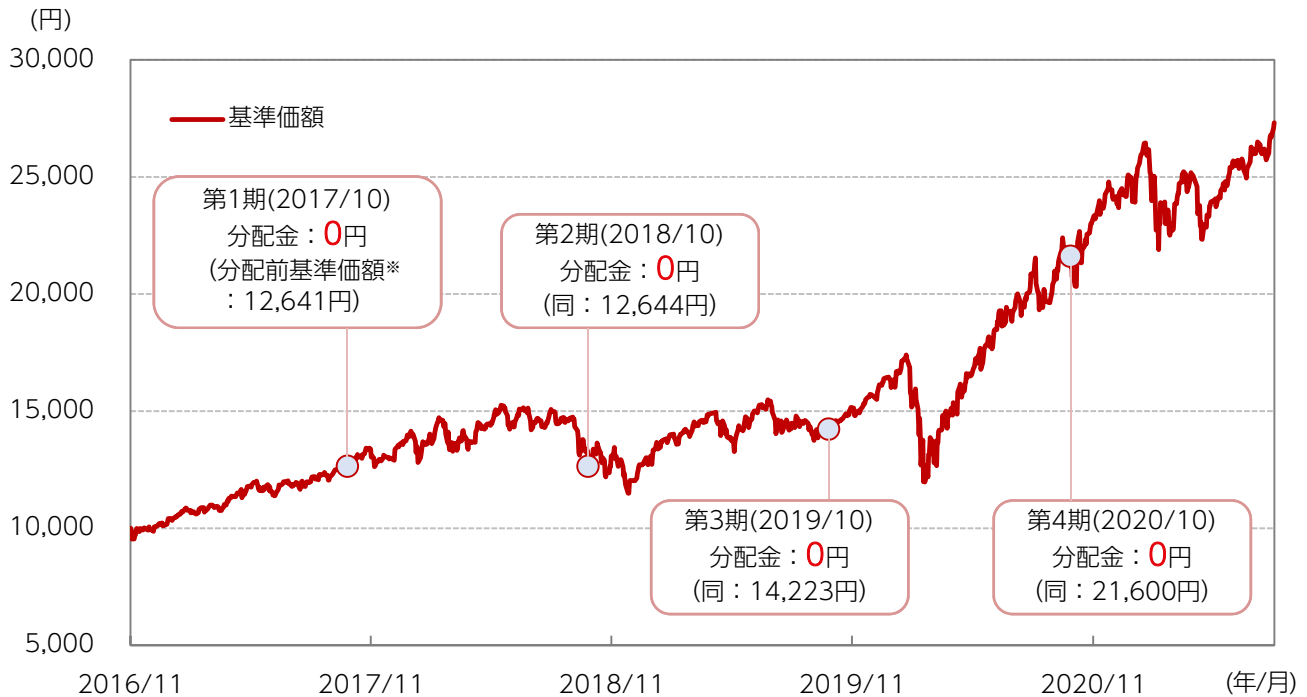
データ期間：2018年1月10日<設定日>～2021年8月31日(日次)

上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。基準価額は信託報酬控除後、1万口当りの値です。税引前分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。分配金は信託財産から支払いますので、基準価額が下がる要因となります。収益分配金には普通分配金に対して所得税および地方税がかかります(個人受益者の場合)。

## 基準価額と分配の推移②

「AI革命(為替ヘッジあり)／(為替ヘッジなし)」は、毎年10月の各25日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行います。次回決算は2021年10月25日を予定していますが、過去の決算においては、信託財産の十分な成長に資することに配慮し分配の実施を見送りました。

### AI革命(為替ヘッジあり)



### AI革命(為替ヘッジなし)



\*分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配前基準価額は、決算日当日に分配金が支払われなかった場合の基準価額です。

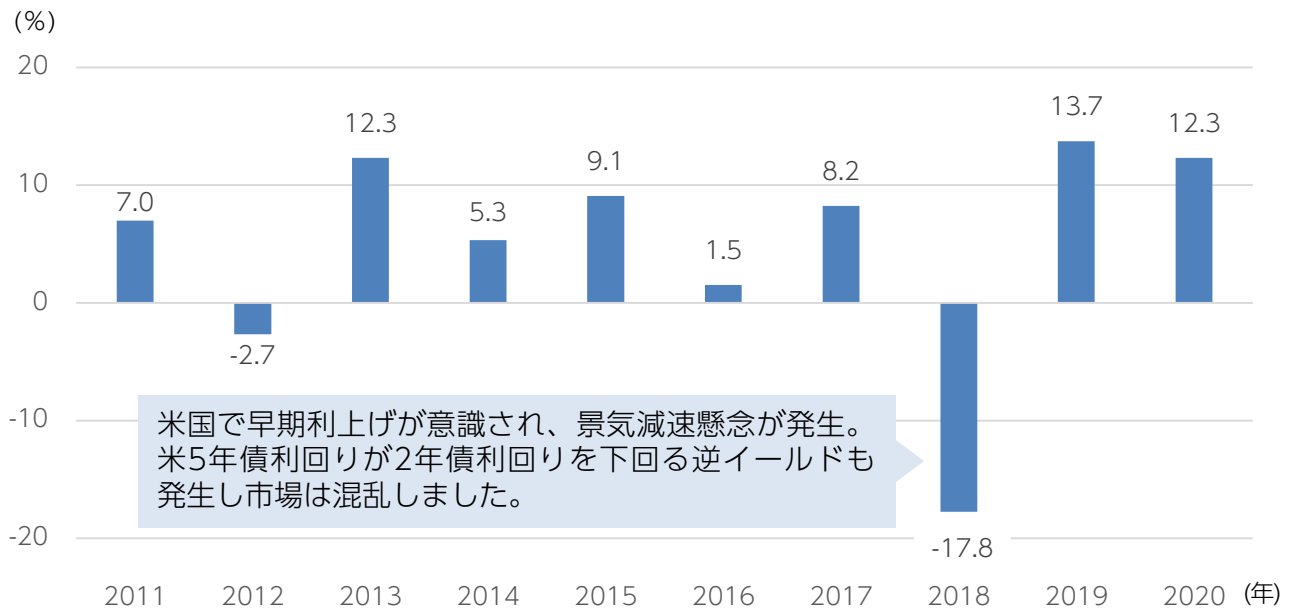
データ期間：2016年11月30日<設定日>～2021年8月31日(日次)

上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。基準価額は信託報酬控除後、1万口当りの値です。運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。分配金は信託財産から支払いますので、基準価額が下がる要因となります。収益分配金には普通分配金に対して所得税および地方税がかかります(個人受益者の場合)。

## 年末にかけてテクノロジーセクターの株価推移に注目

世界の情報技術セクターの株式は、年末にかけて株価が上昇する傾向があると言われており、10-12月のリターンは過去10年のうち8年でプラスとなっています。年末商戦による個人消費の拡大やそれに伴うEC(電子商取引)の売上増加への期待に加え、日本でも国内利用向けに11月から開始すると言われていたワクチン接種証明の活用が世界的に広がることで経済正常化への期待感が高まり、2021年も年末にかけて情報技術セクターの株式の株価上昇が期待できるのではないのでしょうか。

### 過去10年における世界株式(情報技術セクター)の9月末から12月末にかけての騰落率



出所)FactSetのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

データ期間：2011年～2020年 世界株式(情報技術セクター)：MSCI World 情報技術(配当込み、米ドルベース)

上記は各年の9月末時点から12月末時点までの騰落率を表示したものであり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

## TCWアセット・マネジメント・カンパニーによる今後の見通しと運用方針

デジタル・トランスフォーメーション\*の加速に伴い、私たちはいま、様々な場面でAIが活用される様子を目の当たりにしています。今後、あらゆる企業が何らかの形でさらに「テクノロジー」を取り入れなければ、生き残ることはできないだろうと考えており、TCWアセット・マネジメント・カンパニー(以下、当社)では、AI関連企業は長期的に高い利益率を示し、成長速度を再加速させていこうと期待しています。

当ファンドでは、成長性が高いと考えられる小型株から大型株に幅広く投資を行う方針です。一般的に、成長性が高い銘柄への投資は中小型株への投資が中心となりますが、当社はリスク管理の観点から、流動性が高く価格変動が小さい傾向のある大型株への投資も重要だと考えています。

「時価総額の大小にとらわれず幅広く投資を行う」ことにより、「魅力的なリターンを生み出す可能性を秘めた質の高いAI企業に投資をする」という当ファンドの目的を損なうことなく、中小型中心に投資した場合に比べて基準価額のぶれを相対的に抑えることができると考えています。当ファンドでは引き続き、長期的な成長の可能性とリスク管理のバランスをとりながらパフォーマンス向上を目指していきます。

\*「デジタルトランスフォーメーション」とは、進化したデジタル技術を浸透させることで人々の生活をあらゆる面で、より良いものへ変革させていくことをいいます。

出所)TCWアセット・マネジメント・カンパニーのコメントをもとにニッセイアセットマネジメント作成

<ご参考>

## AI技術の進展と活用

足もとでは様々なAI技術が進展することで、各分野で新たなツールが開発されており、これらのテクノロジーにより、今後も私たちの生活はより豊かになっていくものと期待されます。

<AIに関する新たなツールの例>

企業名	概要
オメガ	1932年以来、五輪の公式タイムキーパーを務める同社は、 <u>今回の東京五輪で新たなAIツールを導入</u> しました。同ツールはAIを活用し、高性能カメラや選手が身に着けたセンサーから取得した大量のデータをリアルタイムに分析することで、 <u>肉眼では捉えられないような選手の細かい体の動きを瞬時にデータ化</u> することができます。ビーチバレー、ゴルフ、ハンマー投げなどの様々な競技で使用され、競技の判定やテレビ中継を支えました。
アービント	同社はAIを駆使したインフラ事業の安全管理プラットフォームを提供しており、2015年設立のスタートアップながら <u>多数の大手インフラ企業と提携</u> しています。近年、暴風雨や火災などの自然災害リスクが高まっているなかで、 <u>世界の気候変動のデータをAIを活用してリアルタイムに分析</u> することで被害を可能な限り防ぐだけでなく、被害からの復旧や避難を円滑に進めるためのAIツールの開発も行っています。2021年8月にはアメリカン・エレクトリック・パワーなどの <u>米国の主要な電力会社から6,000万米ドルの資金を調達</u> しています。
エヌビディア	アマゾンの「Alexa」、アップルの「Siri」などの <u>AIアシスタントの音声を大幅に改善する新たな技術を発表</u> しました。この技術は、人の話を聞いて、その人の話し方のパターンを認識し、その情報をAIの音声に反映することができるというものです。まだ完璧に使用できる段階ではありませんが、AIの音声により感情豊かでリアルな音声になっていくものと期待されています。



出所)TCWアセット・マネジメント・カンパニーの資料をもとにニッセイアセットマネジメント作成  
上記は、特定の銘柄を推奨するものではなく、また、当該銘柄の組入を保証するものではありません。画像はイメージです。

## ファンドの特色

- ①日本を含む世界各国の株式の中から、主にAI(人工知能)関連企業の株式に投資を行います。
- ②株式の運用は、TCWアセット・マネジメント・カンパニーが行います。
- ③決算頻度と為替ヘッジの有無が異なる、4つのファンドから選択いただけます。
  - 「AI革命(為替ヘッジあり)」 「AI革命(為替ヘッジなし)」 「AI革命(年2・為替ヘッジあり)」 「AI革命(年2・為替ヘッジなし)」 の4つのファンド間でスイッチングが可能です。
  - スwitchingとは、保有しているファンドの換金と同時に乗換えるファンドを購入する取引です。Switchingの際には、換金時と同様に税金および販売会社が定める購入時手数料・税金がかかります。なお、販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やSwitchingの取扱いを行わない場合があります。詳しくは販売会社にお問合せください。

## 投資リスク

※ご購入に際しては、投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分にお読みください。

### 基準価額の変動要因

- ファンド(指定投資信託証券を含みます)は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本を割込むことがあります。
- ファンドは、預貯金とは異なり、投資元本および利回りの保証はありません。運用成果(損益)はすべて投資者の皆様のものとなりますので、ファンドのリスクを十分にご認識ください。

### 主な変動要因

株式投資リスク	株式は国内および国際的な景気、経済、社会情勢の変化等の影響を受け、また業績悪化(倒産に至る場合も含む)等により、価格が下落することがあります。
為替変動リスク	<p>〈為替ヘッジあり〉 外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替ヘッジを完全に行うことができないとは限らないため、外貨の為替変動の影響を受ける場合があります。また、円の金利が為替ヘッジを行う当該外貨の金利より低い場合などには、ヘッジコストが発生することがあります。</p> <p>〈為替ヘッジなし〉 外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行わないため、為替変動の影響を直接的に受けます。一般に円高局面ではファンドの資産価値が減少します。</p>
カントリーリスク	外国の資産に投資するため、各国の政治・経済情勢、外国為替規制、資本規制等による影響を受け、ファンドの資産価値が減少する可能性があります。
流動性リスク	市場規模が小さいまたは取引量が少ない場合、市場実勢から予期される時期または価格で取引が行えず、損失を被る可能性があります。

●基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時	購入時手数料	購入申込受付日の翌営業日の基準価額に <b>3.3%(税抜3.0%)</b> を上限として販売会社が独自に定める率をかけた額とします。 ※ 料率は変更となる場合があります。詳しくは販売会社にお問合せください。
換金時	信託財産留保額	ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

毎日	運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年率1.2925%(税抜1.175%)をかけた額とし、ファンドからご負担いただけます。	
		投資対象とする 外国投資信託証券	年率0.6%程度
	実質的な負担	ファンドの純資産総額に <b>年率1.8925%(税込)程度</b> をかけた額となります。	
	監査費用	ファンドの純資産総額に年率0.011%(税抜0.01%)をかけた額を上限とし、ファンドからご負担いただけます。	
随時	その他の費用・ 手数料	組入有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用および借入金の利息等はファンドからご負担いただけます。これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を記載することはできません。	

- ❗ 当該費用の合計額、その上限額および計算方法は、運用状況および受益者の保有期間等により異なるため、事前に記載することはできません。
- ❗ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。



ご留意いただきたい事項

- 投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動し、運用成果(損益)はすべて投資者の皆様のものとなります。投資元本および利回りが保証された商品ではありません。
- 当資料はニッセイアセットマネジメントが作成したものです。ご購入に際しては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等(目論見書補完書面を含む)の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は保険契約や金融機関の預金ではなく、保険契約者保護機構、預金保険の対象とはなりません。証券会社以外の金融機関で購入された投資信託は、投資者保護基金の支払対象にはなりません。
- 当資料のいかなる内容も将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。また、資金動向、市況動向等によっては方針通りの運用ができない場合があります。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの信託財産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 受益者のファンドの購入価額によっては、支払われる分配金の一部または全部が実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- MSCI各種指数は、MSCI Inc. が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的財産権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。



「R&Iファンド大賞2021」 投資信託／テクノロジー関連外国株式 部門

優秀ファンド賞 受賞

ニッセイAI関連株式ファンド(為替ヘッジなし) 愛称：AI革命(為替ヘッジなし)

「R&Iファンド大賞」の受賞は**2年連続**

「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

委託会社【ファンドの運用の指図を行います】	ファンドに関するお問合せ先
ニッセイアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者登録番号 関東財務局長(金商)第369号 加入協会：一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会	ニッセイアセットマネジメント株式会社 コールセンター：0120-762-506 (9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く) ホームページ： <a href="https://www.nam.co.jp/">https://www.nam.co.jp/</a>
受託会社【ファンドの財産の保管および管理を行います】	
三菱UFJ信託銀行株式会社	